

卒業演習(日本史7)－Ⅰ

科目ナンバリング SEM-413
選択必修 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、日本の近代史・現代史に関わる史料の読解、および同時期を扱った学術論文、研究テーマの内容、基本史料などについて、受講者が発表を行う。また受講者は発表をうけた討論に参加する。

2. 授業の到達目標

歴史学習上の基本的知識を得るとともに、学術論文の書式を学び、文献・史料の探索や読解などの歴史学の基本的方法を身につけること。さらに発表を通して、文献・史料のポイントを他者に説明できること。また先行研究をふまえて、自分なりの疑問や課題を発見し、将来的に論文を執筆するためのテーマを獲得すること。

3. 成績評価の方法および基準

担当した発表の内容を中心とする。また授業内の討論への参加、発言・活動などの積極性や、レポート課題提出物などを重視する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

吉田裕ほか編 岩波講座日本歴史(2014・15年版／第15-19巻 近現代1-5) 岩波書店
奥村弘ほか編 展望日本歴史(17-24巻) 東京堂出版

5. 準備学修の内容

授業時間での議論のため、時間外での自主学習に重点が置かれる。文献・史料の調査、論文の読解、研究史の整理などに、十分な準備を求めるものとする。そのために参考文献などを中心に、はばひろく文献を集めたり、新書(新書版の書籍)などを書店やMELICにて閲覧するなどして、自分の関心ある分野を見出すこと。学期初頭にむけては、発表を希望する文献を選定できていることが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

受講生が主体となる授業なので、無断で欠席をしないこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス 授業内容や進行について、教員より説明する。(LMS上にて実施)
- 【第2回】 書籍発表と討論(日本近現代史にかかわる書籍を選択・紹介し、内容を議論する)(1)
- 【第3回】 書籍発表と討論(2)
- 【第4回】 書籍発表と討論(3)
- 【第5回】 書籍発表と討論(4)
- 【第6回】 書籍発表と討論(5)
- 【第7回】 書籍発表と討論(6)
- 【第8回】 書籍発表と討論(7)
- 【第9回】 選択論文発表と討論(各自が担当する論文を、教員の提示した文献等から選択し、内容を議論する)(1)
- 【第10回】 選択論文発表と討論(2)
- 【第11回】 選択論文発表と討論(3)
- 【第12回】 選択論文発表と討論(4)
- 【第13回】 選択論文発表と討論(5)
- 【第14回】 選択論文発表と討論(6)
- 【第15回】 選択論文発表と討論(7)